

# 営生保育園敷地の 将来的活用について

川崎市議会議員 矢沢たかお

2月13日から3月18日まで行われた市議会  
第1回定例会が行われました。予算審査特別  
委員会では宮前区における3つのテーマを取  
り上げました。今回はその内「営生保育園敷  
地の跡地利用」についてご報告致します。

## 耐震不足で移転

初山にある川崎市立保 営生保育園である「営生保育 園」はこのたび、「地域 子育て支援センターすが お」（蔵敷）を合築改修 工事して移転することが

公表されました。昨年の まちづくり委員会で報告

された「公共建築物の耐 震対策」において、同園 が震度6強〜7程度の大地震が発生した場合に、

「地震の震動及び衝撃に 対して、倒壊し、または

崩壊する危険性がある建 物」と判定されたことが 理由です。

これは園児の安全を第 一に考えた取り組みであ り、私も現地を視察し、

市の判断は致し方ないも のと受け止めました。市 議会では、予定通り来年 10月に移転した場合の敷 地の跡地利用について質 問しました。

## 民間活力も視野に

施設を所管することも

未来局長は「周辺地域に おける保育ニーズの増加 が見込まれないため、新 たな保育所の整備は予定 していない。他の活用も

想定されないことから、 全庁に向けた活用調査 を実施したが、希望する 部署がなかった。今後は として連動した取り組み 関係局と連携し、民間活 用も含めて具体的な活用 方法等について検討を進 めていく予定」と答弁し ました。

同園は敷地が約140 0㎡あります。こうした 地との再編が進んでいる 中、本件のように機微を てくるのは非常に稀で 捉えた柔軟性のある取り 組みも市として必要で す。現在の園舎と園庭の 体活動スペースとしての コミュニティ機能や、橋 公園で実施している公算 設置管理のような事も 検討できる可能性もありま す。更地にするとした

も、子どもたちの賑やか な声も日常にあった地域 ですので、不足している 「ボール遊びが出来る公 園」へと転換しても良い

営生保育園外観



矢沢たかお

●川崎市宮前区初山生まれ(38歳)  
菅生小、菅生中卒 / 法政大学  
第二高等学校卒 / 法政大学情  
報科学部卒 / 商社系IT企業  
2023年4月3期目当選

宮前区初山1-20-12  
Tel 044-976-2727

矢沢たかお 検索